

# 立命館経済學

第二十七卷 第一号

昭和五十三年四月

---

## 内 容

### 論 説

- 経済学史の意義とその方法 (一).....上 野 俊 樹 1
- 産業資本主義段階における近代的独占の  
存在形態 (四).....若 林 洋 夫 29  
——北東イングランド石炭独占の歴史的 성격——
- スタグフレーション分析に関する一試論.....河 野 快 晴 90  
——OFCD マクラッケン・グループ報告書によせて——松 川 周 二

### 資 料

- 日本資本主義確立期の資本の存在形態 (五).....後 藤 靖 121

立 命 館 大 学 経 済 学 会

立命館経済学 第二十六巻・第五号

論 説

三月前期のプロイセンにおける

「社会問題」と社会政策および

び中間層政策の展開(一)……………川本和良

景気循環の一モデル……………北野正一

研 究

現代日本企業税制の諸要因……………藤岡純一

資 料

志布志湾漁業経済分析資料

(その二)……………杉野 園 明

共同研究室

発行所 立命館大学経済学会

立命館経済学 第二十六巻・第六号

論 説

外国貿易の必然性再考……………岩田勝雄

三月前期のプロイセンにおける

「社会問題」と社会政策および

中間層政策の展開(二)……………川本和良

研 究

独占段階の過剰資本……………山本幹夫

財政危機下の総需要抑制策と

景気浮揚策に関する一考察……………東郷 久

独占価格の実態と方法的諸問題……………佐々木 秀 太

共同研究室

発行所 立命館大学経済学会